

平城宮跡資料館 夏期企画展 「平城宮跡 今・昔 -岡田庄三写真展-」

平城宮跡資料館では「平城宮跡 今・昔」と題して7月10日～8月31日に岡田庄三氏の写真展を開催し、3万8千余名の方にご来場いただきました。

岡田氏が約半世紀にわたり撮影されてきた平城宮跡の風景を中心に、約50点の写真パネルが会場に並びました。昭和30・40年代の写真は、宮跡が一部しか国有地化されていない史跡整備前の様子を伝える貴重な資料です。

平城宮跡の昔と現在の写真を見くらべながら、「エーッ！50年前はここが一面田んぼだったの！」と驚く若い人、佐紀町のお祭りの写真に知人の若き日の姿を見つけ思い出話に花を咲かす地元の方、昭和30年代のカメラを指さし、「昔、こんな家にもあったなあ～」と懐かしむ人達など、会場をのぞいていると、皆さんのいろいろな声が聞こえてきました。

今回は、地元の方にも是非ご覧いただきたいと考え、自治会のご協力を得て宮跡周辺の町内に広報することができました。また宮跡内に校区がある都跡小学校の児童の皆さんにも、会場の一角に設けた掲示板コーナーに参加していただきました。

岡田氏は連日にわたり足をお運び下さり、入館者の方々に、撮影者ご本人だからこそできる解説・エピソードを話して下さいました。

この展示を通じて、はるか1300年前の平城宮だけでなく、ちょっと昔の平城宮跡の姿をふり返り、現在までのうつりかわりを感じていただいたことが、宮跡を守り今後伝えていくことにつながっていくのではないかと感じております。

(企画調整部 渡邊 淳子)



昔の写真に見入る人々